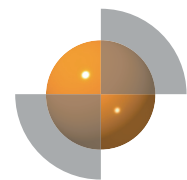


地上デジタル放送用シミュレータ

Now
update



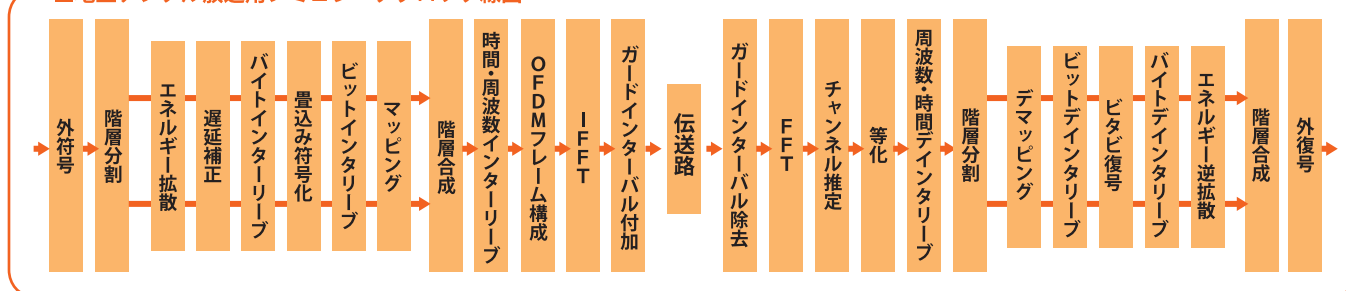
RADRIX
for Future Mobile Technologies

[ARIB STD-B31に対応した地上デジタル放送用シミュレータ]

シミュレータの特長

- 13セグシステムに対応
- 独自アルゴリズムを使用し、高精度な伝送路推定が可能
- Mode3に対応
- MATLABのm-fileで記述 (MATLAB ver R14以降対応)
- 各種パラメータ設定可能
- ダイバーシチ (受信アンテナ2~4本に対応)
- 階層分割処理

■地上デジタル放送用シミュレータブロック線図

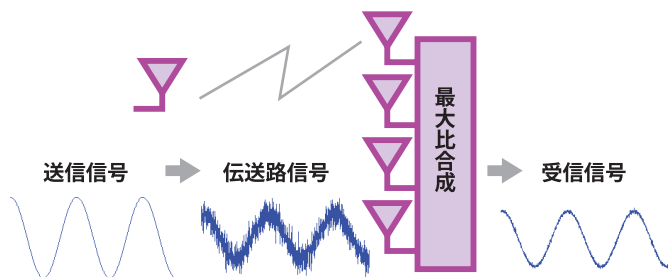


■仕様概要 (伝送信号パラメータ)

シミュレータの対応範囲		
モード	モード3	
OFDMセグメント数	13	
帯域幅	5.572MHz	
キャリア間隔	0.992kHz	
シンボル数/フレーム	204	
有効シンボル長	1.008ms	
階層分割内セグメント数	1セグメント	12セグメント
変調方式	QPSK	64QAM
内符号 (畳込み符号)	2/3	3/4
外符号 (RS)	204, 188	
ガードインターバル長	126 μ s (1/8)	

■仕様概要 (可変パラメータ)

パラメータ	各パラメータの種類
チャンネルモード	AWGNONLY, マルチパス, ドップラー
最大ドップラー周波数	自由に設定可能 (0を除く)
チャンネル推定モード	線形補間 1次元フィルタ 2次元フィルタ
周辺の補間の使用	ON/OFF
各種インターリーブの使用	ON/OFF
ダイバーシチ※1	ON/OFF
	アンテナ数2~4に対応



※1 ダイバーシチ

複数の受信信号を合成することにより、フェージングの影響を緩和することが出来る。本シミュレータでは、最大比合成を用いた空間ダイバーシチを実現している。(図中の信号はイメージになります)

本シミュレータは、13セグメント対応の地上デジタル放送用のシミュレータです。

階層分割は2階層とし、階層ごとに独立して処理を行っています。ドップラー周波数を自由に設定可能など、様々なオプションスイッチが用意されています。

また、アンテナ数1本から4本まで対応しており、ダイバーシチの機能を実現します。

本製品はお客様のニーズに合わせてカスタマイズ可能です。

株式会社レイドリクス

〒820-8502

福岡県飯塚市川津680-4

九州工業大学インキュベーション施設内

TEL : 0948-29-7937

FAX : 0948-29-7692

www.radrix.com

●この製品に関するお問合せは

地上デジタル放送用シミュレータ担当まで : e-mail: support@radrix.com

この資料の記載内容は2009年10月現在のものです。この資料に記載された仕様・価格は予告なく変更する事があります。